

令和6年11月12日臨時部長会議 会議録（要旨）

◇日 時 令和6年11月12日（火） 午前8時35分から午前9時2分まで

◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室

◇出席者 市長、西澤副市長、松山副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、経済産業振興部長、観光文化部長、スポーツ部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長（代）、危機管理防災監及び関係課職員

◇会議内容

1 一括議論・一括承認事項

（1）令和6年12月市議会定例会提出議案について（総務部）

標記事項について、総務部長の説明省略。（資料1参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（2）令和6年度12月補正予算（案）について（財政部）

標記事項について、財政部長の説明省略。（資料2参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（3）第2次長野市自転車活用推進計画（案）に対する市民意見等の募集（パブリックコメント）の実施について（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長の説明省略。（資料3参照）

○質疑

[観光文化部長] 基本方針1施策1に、Webサイトを活用したPRとして公式サイト「NAGANO CYCLING」の写真を引用しているが、引用元はサイクルツーリズムに特化したサイトであるため、施策をイメージする写真として適していないと思う。自転車利用の促進を広報するならば、一般的な写真を使った方が良いのではないかな。

[企画政策部長] 指摘のとおり修正する。

[上下水道事業管理者] 自転車の保有率・利用率の低下が記載されているが、インバウンドも含めた観光面での自転車利用は増えているのではないかな。また、レンタサイクルの利用率はどうなっているのか。今後は減少する通勤・通学利用を促進することも大事であるが、市街地での観光利用や観光スポットへ出かけるなど観光面での長距離利用を優先的に取り組んだ方が良いのではないかな。

[企画政策部長] 自転車の利用率等は低下している。今後の自転車利用として、インバウンドや観光向けの利用も確かに重要なテーマだと思うので、移動手段としてだけでなく、観光目的やサイクルツーリズムの利用も推進していきたい。

[観光文化部長] レンタサイクルの利用率については資料を持ち合わせていないので、答えることができないが、令和5年9月にレンタサイクルを導入してから多くの方に利用いただいている。このレンタサイクルは観光客向けに整備したもので、市民の皆様にも多く利用されているが、観光客の利用の方が多い状況である。長距離利用についてはレンタサイクルを利用して、飯綱あるいは松代方面、又は市外まで出かけている利用状況も確認しているので、観光目的で使っていただく非常に有効なツールだと考えている。

〔上下水道事業管理者〕 サイクルポートは各所にあるのか。

〔観光文化部長〕 3箇所である。サイクルポートの増設については自転車の再配置等やコスト面も考慮する必要があるので、各所で実証実験をしながら、より効果的な場所を探っている。

〔交通政策課〕 令和5年9月から令和6年1月までのレンタサイクルの利用率は月平均177回である。引き続き、第2次自転車活用推進計画でレンタサイクルの利用を推進していく。

○今後の方向性

資料を修正した上で、原案を了承

（４）（仮称）長野市手話言語条例骨子案及び市民意見等の募集（パブリックコメント）の実施について（保健福祉部）

標記事項について、保健福祉部長の説明省略。（資料4参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（５）第三期長野市子ども・子育て支援事業計画（案）に対する市民意見等の募集（パブリックコメント）の実施について（こども未来部）

標記事項について、こども未来部長の説明省略。（資料5参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（６）長野市災害廃棄物処理計画（案）に対する市民意見等の募集（パブリックコメント）の実施について（環境部）

標記事項について、環境部長の説明省略。（資料6参照）

○質疑

〔危機管理防災監〕 計画（案）3ページの対象とする災害の項目で、様々な自然災害を対象とする本文であるものの、表に示された長野盆地西縁断層帯と糸魚川―静岡構造線での災害規模の大きい地震災害2つと、風水害（水害）だけを災害廃棄物処理計画の中で対象としている印象を受ける。また、風水害（水害）では千曲川と犀川の記載はあるが、地域防災計画では県管理河川も含めた被害を想定しているので、その表現について修正をお願いしたい。

〔環境部長〕 分かるように資料を修正する。なお、災害廃棄物処理計画は想定される最大の災害で、ごみの総量がどの位になるのか示した基本的な計画である。このほかに詳細な個別のマニュアル等も整備していくので、関係部署とは調整させていただきたい。

○今後の方向性

資料を修正した上で、原案を了承

2 その他

（１）上田長野地域水道事業広域化の取組について（上下水道局）

標記事項について、上下水道局長から説明した。（資料7参照）

○質疑なし

以上